

親愛なる友人たちとの交流

7 / 16~21

ファボー・ミッドフュン・登別友好協会の訪問

7月16日(木)、デンマーク王国の『ファボー・ミッドフュン・登別友好協会』の会員が登別市を訪れました。

登別市とファボー・ミッドフュン市は、ファボー・ミッドフュン市にある『イーエスコウ城』をモデルにマリンパークの『ニクス城』が建てられたことをきっかけに交流を始め、平成9年に『友好の絆』を取り交わし、平成19年には友好都市提携を結びました。そしてマリンパークの開園25周年に当たることし、同協会の会員22人が6日間、登別市に滞在しました。

滞在の2日目となった7月17日(金)には、北海道登別明日中等教育学校を訪れ、同校生徒との交流や日本文化の体験などをしました。

6人のグループに分かれて行われた交流では、英語のみで会話し、自分自身や自分のまちについて互いに紹介しました。母国語の違いを感じさせずに楽しそうに交流する姿は、『友好の絆』の強さを感じさせました。



▲日本の伝統文化『書道』の体験



▲英語で楽しく自己紹介



▲心を込めて花植えをする参加者たち

花いっぱいでも出迎え

JR幌別駅西口前花壇整備

6 / 19

6月19日(金)、JR幌別駅の西口前広場で、市連合町内会が主催する花壇整備事業が行われました。

環境美化活動の一環として毎年度行われているこの活動に、ことしは近隣住民や登別建設協会、市職員など約80人が参加。参加者が花植えを始めると、たちまち花壇は赤、黄、紫など鮮やかな色に彩られていきました。

完成した花壇は、市連合町内会などが取り組んでいる、花いっぱい運動のシンボルにふさわしい仕上がりとなりました。おもてなしの気持ち詰まった花壇を、ぜひご覧ください。

流れてくるそうめん うまくすくい取れるかな

7 / 2

7月2日(木)、登別子育て支援センターで『流しそうめん』(市主催)を開催し、参加した親子21組47人が青空の下、一足早い夏の風物詩を楽しみました。

5本の雨どいをつなげて作られた流しそうめん台に、そうめんが流されると、子どもたちは歓声をあげ、箸やフォークで一瞬懸命すくい取りました。

お母さんと参加した伊勢合映太くん(3歳)は、『だんだんうまく取れるようになって楽しかったです』と元気いっぱい話してくれました。



▲一生懸命そうめんをすくい取る子どもたち



▲親子で流しそうめんを楽しむ